

訪問支援	導入支援 ＜現状分析・課題抽出支援＞	4月中旬 支援医療機関募集（周知） →5/25募集締切 5医療機関が支援を希望	
	導入支援 ＜課題選択型支援（労務管理相談・医業経営相談）＞	4月中旬 支援医療機関募集（周知） 約3ヶ月～半年間の支援 ※年度途中での支援希望も受付 →5/25時点 6医療機関が支援を希望	<p>【支援対象分野】 ＜労務管理相談＞ ①労働時間等の見直し ②雇用契約・人事制度 ③両立支援制度 ④ハラスメント対策・メンタルヘルス対策 ＜医業経営相談＞ ①離職率の改善 ②院内コミュニケーションの改善（業務手順の改善） ③業務の効率化 ④人材基礎力育成</p>
	組織力向上支援 （研修講師派遣）	4月中旬 支援医療機関募集（周知） ※年度途中での支援希望も受付	現状確認・研修内容・実施方法の相談・検討 ⇒ 研修実施（医療機関等の希望の時期）
普及啓発活動	活動の概要 （研修会・事業説明等）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 医療機関の管理者の会合等を活用した周知・啓発活動を継続的に実施（関係団体の講演会等で説明、広報誌への掲載など） ○ 東京労働局主催研修会（勤務環境改善の必要性や医療機関における労務管理などを説明）：9月頃を予定 ○ 東京都主催セミナー（勤務環境改善の先行事例やセンターを利用した病院からの発表）：3月頃を予定 ○ 労務管理や経営など、勤務環境改善に関する情報提供 <ul style="list-style-type: none"> ・月1回のニュースレターの発行 ・ミニ講座の開催 <p>【新規取組事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 勤務環境改善取組事項チェックシートを都内全病院へ配布。（医療機関が行う医療従事者の勤務環境改善に向けた取組を促す。） ※他にも効果的な普及啓発活動について検討していく。 	
	随時相談	医療労務管理アドバイザーと医業経営アドバイザーとの連携による医療機関からの相談対応	
	訪問相談	導入支援等を検討している医療機関へ訪問し、支援センターに関する案内や支援の内容に関する具体的な説明を実施する。 ⇒随時相談や東京都医療人材課へ支援について問い合わせがあった際に積極的に案内し、支援の受入れを促す。	

ポイント1 導入支援について
 ①現状分析・課題抽出支援について、今年度の希望が昨年度の1件から5件と増加した。
 支援実施時期によって年度内に支援を完了させることが難しいことが想定されるため、病院側の要望を確認したうえで、年度をまたいだ支援の実施が可能か検討する。

ポイント2 普及啓発活動の新規取組
 ①平成29年度に新規開催したミニ講座について、今年度は東京都看護協会と連携して、看護管理者を対象とした研修会を実施する。
 ②医療機関による自主的な勤務環境改善の取組をより進めるために、「勤務環境改善取組事項チェックシート」を都内全病院へ配布する。病院から希望があれば本チェックシートを提出してもらい、他医療機関等と比較した分析シートを提供する。

ポイント3 国の「医師の働き方改革に関する検討会議」の動向について
 ①今年度末、検討結果の最終報告が出される予定であり、動向に注視しながら今後の医療勤務環境改善支援センターの運営内容の検討を行う。